

共同生活援助

福祉作業所

悠楽ホーム WORKLE ニュースレター

Vol.18

2025年10月号

編集：U

代表からみなさまへ

変わらずに変化する

新総裁が高市早苗さんになりましたね。私は変わらずライフワークバランスを整えて進めさせて頂きつつ、社会の変化に対応して参ります。

就労継続支援B型事業は自社でパン作り、お弁当、手工芸作品、農作業、清掃作業、ポスティング作業、内職作業など多岐に渡ります。それらを行っていただきながら、安定した就労を継続したり、日常生活の居場所に結びつけていく事業です。最低賃金が保証されない一面があるため、簡単な作業という位置付けになりがちですが、そこにも得意や不得意があります。

WORKLEでは内職作業を行っていただくことを主にダイレクトメールや箱の詰め合わせ、工具類の組立作業などを企業様から適時に受注し期限内に納品する作業所となります。人なので当然気持ちや体調には波があり、受注量にも波があります。両者を安定して売上の最大化を図ることもとても難しい課題の一つです。

これからも物価高騰すれば、最低賃金とその保証がない格差はますます開いていく懸念を感じています。

だからこそ、悠楽の中で新しい事業を作り、そこに関わる利用者さん達の新しい仕事を作り上げていく必要があると思い、日々試算検討していました。そこで新たに立ち上げを決意した事業が「レンタルスペース事業」です。

皆様は個人で会議室やダンススタジオ、パーティールームなど利用したことがありますか？

都心ではここ数年で目覚ましい勢いで増え続けております。ポータルサイトから日時を予約して、鍵を開けて入室して原状回復して出ていくまで全てお客様が完結する無人運営の店舗です。無人運営とは言え、消耗品の補充や一部清掃は月に1～2回は必要です。当社でも都心に数店舗を開設し、数年内には東久留米にも数店舗を開設し利用者の皆さんと運営し地元のお客様から喜ばれる事業にしたいと思っております。

代表の
たかぎです



悠楽
ホーム

男性1室空きあり
※詳細はお問合せください



WOR
KLE

見学受付中
利用者募集中



悠楽
治療院

鍼灸師募集中
※詳細はお問合せください

11月24日はわーくるマルシェ

ワークルで第二回のマルシェを開催します。前回と同じく、地域交流の活性化、福祉事業への理解促進が目的です。

当日は、『美容のプロによるハンドマッサージ』をはじめ、射的やコイン落としのアトラクション、焼きたてのパンやヴィーガンのお弁当、焼き菓子、手作り小物の販売等のブースを出店。

ステージでは、『第4回失語症の皆様のカラオケコンテスト』で最優秀賞を受賞した方のコンサート、ダンスショー等を披露。

ぜひぜひ、お気軽にお越しください。お話しできることを楽しみにしております～！



写真は前回のものです
まちゼミもやるよ～

悠楽治療院

担当：トシヒデ

最近、熊が人里に出没して人的被害のニュースが多くなっています。人間の都合で排除することも好ましくありませんが、私たちこそが自然環境とうまく共存する方法を考えなければならぬと感じます。

ところで、「熊胆（ゆうたん、くまのい）」という漢方をご存知でしょうか？古来、中国や日本では「万能薬」とされ、日本の東北では熊胆の売買で諸藩が潤っていたとも伝えられます。熊は冬眠中、何ヶ月も飲まず食わずでも生命を保ち続けます。この生命力の秘密が「胆（たん）」にあるのではと考えられ、熊の胆のう（胆汁）を数年乾燥させたものが薬として珍重されました。耳かき一杯ほどを飲むだけでも強い薬効があるといわれます。

- ・消化機能を高める
- ・利胆作用（胆嚢を助け、肝臓の働きを整える）
- ・解毒・整腸・消炎作用

近年では成分であるウルソデオキシコール酸（略称「ウルソ」）が肝機能保護作用や二日酔い防止薬として活用されています。一方で、「この世で最も苦い薬」とも言われます。熊胆は非常に希少かつ高価で、原形では1g約8,000円で取引されることもあります。しかし、野生熊からの採取は生態系や動物福祉の観点から問題視され、現在は牛や豚の胆汁を代用した「動物胆」という生薬が一般的です。東洋医学では、肝は「将軍の官」、胆は「決断の官」と呼ばれます。肝は情緒を司り、胆はその肝の力を“実行”に移す役目を担います。胆が弱ると「決断できない・迷いやすい・気が小さくなる」といわれます。つまり、“胆を養う”とは、心の揺らぎを整え、冷静に判断し、行動する力を育てることなのです。熊胆のような薬は簡単に手に入りませんが、秋の苦味野菜（ルッコラ、春菊、エンダイブ、トレビス、アケビの皮など）は、熊胆に通じる“生きる力”を日常に取り入れる良い方法です。苦味は心を鎮め、胆を養う味。無理をせず、心と体をゆるめながら、穏やかに冬を迎えていきましょう。



「苦汁をなめ、辛酸をなめ、煮え湯を飲み、いままでにいる」
by トシヒデ

株式会社 悠楽

〒203-0032 東京都東久留米市前沢4-9-6 小寺ビルF号室

☎ 042-420-9940(代表)

E-MAIL▶▶▶daihyou@39yuraku.net

U R L▶▶▶https://www.houmonhq.com



悠楽ホーム

担当：T

🌸利用者さんの作品紹介🌸
「心をこめて描いた一枚」

今月は、利用者の佐藤さんが心をこめて描かれた素敵な絵をご紹介します。



やさしさと力強さを感じる色づかいで、見るたびにあたたかい気持ちになります。ホームの玄関に飾らせていただいております、通るみんなの心をやさしく包んでくれています。

秋が深まり、温かいご飯やお風呂がいっそう嬉しい季節になりました。無理のない毎日を過ごしながらか、笑顔でこの季節を楽しみましょう🍁

わーくる

WORKLE

担当：G

作業の合間に、ちょっとした“ワークタイム”を行いました🎉🌟

メンバーの皆さんには、ハロウィンの飾りづくりに挑戦していただきました🎃👻

色とりどりで個性あふれる作品が並び、作業所の中も一気にハロウィンムードに！賑やかで温かい雰囲気になっていきます😊

さて、恒例(!?) 法人代表のトシヒデの仮装は今年はどんな姿になるのか🤔今から楽しみです🎃👻



お知らせです📣
前回大盛況だった「わーくるマルシェ」を11月24日(月・祝)に開催
楽しい企画をたくさん準備して、皆さまのお越しをお待ちしております🎉